絵本フォーラム

2019年1月10日　第122号

[illegible]

発行所　NPO法人「絵本で子育て」センター
芦屋　〒659-0067　芦屋市茶屋之町2-21-405
TEL 0797-38-7516 FAX 0797-38-7939
https://www.ehondekosodate.com/　E-mail info@ehondekosodate.com
郵便振替口座 00900-9-191667

©NPO法人「絵本で子育て」センター 2019

とくべつに すてきな ひ
イラスト・文　ほしの せいこ

子ども歳時記

日本の美と心を子どもたちへ

篠原 紀子（絵本講師）

明けましておめでとうございます。新年の行事や風習に、とりわけ日本らしさを感じられる方も多いのではないでしょうか。我が家の娘たちも、毎年お着物での初詣を楽しみにしています。

＊　＊　＊

私が真っ先に思い浮かべる"日本らしい絵本"は『つるにょうぼう』（矢川澄子／再話、赤羽末吉／画、福音館書店）です。満州で暮らした経験から日本文化の素晴らしさに気づき、表現の道へと進んだ赤羽末吉さんは、多くの昔話の絵本に情熱を傾けました。特に雪の描写を追求し、スケッチのため度々雪国へ足を運んだとか。湿り気を帯び、重くぼってりとした日本特有の雪景色が印象的です。

日本では古くから、物語と絵を一緒に楽しむ文化がありました。赤羽さんは平安時代に発達した絵巻物を研究し、その手法を絵本に取り入れました。墨絵と大和絵を用いた、品格ある日本の美を作品に込めたのです。

赤羽さんは、子どもにも大人と同じ態度で、絵を通して語りかけます。解る解らないではなく、本質的なものは子どもにも必ず響くはず。絵本から、本物を見る目と心を養ってほしいと願っていたのではないでしょうか。日本の風土や感性を子どもたちに、後世に伝えたいという熱意が感じられます。

＊　＊　＊

日本美術の特徴の一つとして、奥行きよりも横の展開を重視することが挙げられます。絵巻物に学んだ赤羽さんは、絵本のなかで物語の流れの表現を深化させました。ただ良い絵を並べるのではなく、絵が語り、物語を引っ張っていく力を持っているのです。

『つるにょうぼう』福音館書店

『つるにょうぼう』では更に、絵が感情の流れを生んでいるように読み取れます。鶴と男の愛情、欲、驕り、後悔、複雑に移ろう情念……人物の表情や背景の筆致から、鶴と男の余情を色濃く漂わせる技量は圧巻です。細部まで描かず削ぎ落とすことで、物事を心で捉え、目に見えないものを匂わせる奥ゆかしさ、これも日本の美意識と言えるかもしれません。

最後のページ、柔らかい山なみの上を一羽の鶴が飛び去ります。そこに言葉はありません。深い雪の静けさが心の余白と重なり、私たちの胸に波紋を広げるのです。子どもの心にも、その余韻は確かに残ります。『つるにょうぼう』は昔話でありながら、現代に通じる解釈や共感を含み、心理に迫る絵本です。物語の持つ普遍性を、子どもたちも受け取っていると実感します。

＊　＊　＊

自国の文化を理解して初めて、他国の文化の多様性を受け容れられます。赤羽末吉さんは、子どもたちに日本の美と心を伝えることで育まれる、新たな伝統を生み出す力に期待していたのかもしれません。それは絵本の大きな使命のように感じます。

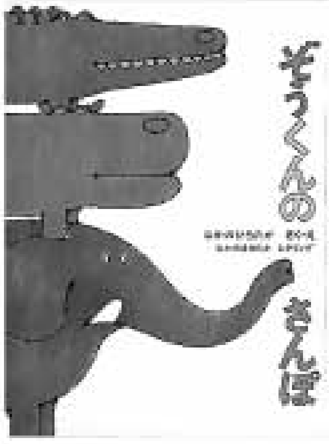
年頭にあたり、絵本を通じて子どもたちの未来へ思いを馳せています。（しのはら・のりこ）

"たましい"をゆさぶる子どもの本の世界 111

飫肥 糺（批評家・エッセイスト）

面白い。ふんわりと心を包むシンプル・ストーリー。

『ぞうくんのさんぽ』（福音館書店）



むかしむかし60万年も前のこと、大陸と陸つづきだった古代日本にナウマンゾウが生息したが、およそ2万年前に絶滅する。現生種のゾウが日本にやってくるのは室町時代の1408年。南蛮船で渡来した外国人から献上品として足利義持に贈られたアジアゾウだった。以降、渡来人たちが秀吉・家康・吉宗らに至る権力者たちへアジアゾウを贈る。

献上されたのが気性の荒いアフリカゾウでなく、おだやかな性格のアジアゾウだったことで、日本人は、ゾウに対する親しみやすい印象を形成してきたように思う。

大正期末、北原白秋は童謡詩「象の子」でつぎのように謳う。

> わたしゃ象の子おつとりおつとりしてた。……
> お鼻ふりふりゆうらりゆうらりしてた。……
> 坊や　おまんまだよ。
> 誰か呼ぶけどうつとりうつとりしてた。……
>
> （『象の子』北原白秋『絵入童謡第八集』アルス刊）

どうだろう、白秋はゾウのイメージをのんびりゆったりとした情景で描き、ぼくらをふうわりとした気分に誘っているではないか。現代に至って1951年、まどみちおも童謡詩「ぞうさん」で、〈鼻が長いのはだいすきな母さんといっしょよ〉と謳いあげ、すっかり子どもたちの愛唱歌にした。

ぼくの居住する街の動物園「ぞうのくに」のゾウたちの実際もイメージどおりだ。入場客の間に分け入り数頭そろって園内を行進する。サッカーボールをゴールポストめがけて蹴りこむ。さらには、文字を大書し絵まで描くのだ。巨大なからだで人なれするゾウの愛らしさは格別である。時間をそうろりそうろりと運ぶゾウの動作に子どもばかりか大人たちだって存分に癒されるのである。

そんな印象そのままのゾウが『ぞうくんのさんぽ』に登場する。まんまるといっていい体形のぞうくんがなにより親しく絵本のなかで行動する。

天気良し。ぞうくんはごきげんで散歩に出かける。途中で出会ったかばくんに「いっしょにいこうよ」と誘うと背中に乗せてくれるならと応じるかばくん。つぎは、かばくんより少し小さいわにくんを、さらに小さいかめくんまで誘って乗せる気性のやさしいぞうくん…。

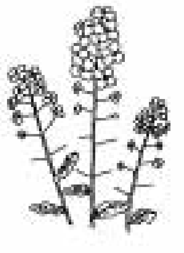
シンプルなテキストでテンポよく運ぶ物語に大人のぼくだってぐいっと魅き込まれていくではないか。さてさて、力持ちのぞうくんもさすがに乗せるたびに加わる重さに耐えきれず、ふらついて転んでしまいドボーンと三人（？）そろって池の中に…。おはなしのフィナーレは水あそび。みんなごきげんな一日を過ごすという顛末である。愉快で面白く、ふんわりとこころを包むシンプル・ストーリーの傑作だろう。

丸・三角・四角という定格どおりの造形を避けて、すべて丸味を持たせた曲線で描く絵画展開がすばらしい。コミカル・イラストレーションのおもむきなのだ。線描を際立たせる透明感ある彩色も快い。これこそ、絵が語りテキストが描く絵本だと言えないだろうか。

動物生理学者・本川達雄の『ゾウの時間 ネズミの時間』（中公新書）の動物のサイズのちがいと時間の流れる速さを語る論考を思い起こしながら『ぞうくんのさんぽ』を、読み・語り・聞く、大人たちと子どもたちの感じ方はどうちがうのだろうかと想いをはせる作品である。

〔おび・ただす〕

『ぞうくんのさんぽ』なかのひろたか／さく・え、なかのまさたか／レタリング、福音館書店



ジェリー・マーティン　英訳
えいごのじかん2 全6巻
分売可：各巻定価（本体1,800円＋税）
- What's For Snack Today?　きょうの おやつは なんだろな？
- Good Morning, Hedgehog　おはよう はりねずみくん
- Poop　うんこ
- Clouds,Clouds,Clouds,Where Are You From?　くもは どこから？
- The Bean Counting Song　まめの かぞえうた
- Sumo Mice　ねずみの すもう

英語の読み聞かせに最適なバイリンガル絵本。
ネイティブスピーカーによる英文朗読ダウンロードサービス付き。
すずき出版 〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21 TEL.03-3945-6611 FAX.03-3945-6616

おじいちゃん
梅田俊作　梅田佳子　作・絵
死ぬってどういうこと？
おじいちゃんが死んだ。家の中でも、家の外でも、おじいちゃんをこんなに近く強く感じるのに、もういないの？ 男の子が思い出の場所までたどりついた時、奇跡が――。大好きな人の死を男の子が受けとめ、前を向いて歩みだすまでを描いた絵本。
ポプラ社
〒160-8565東京都新宿区大京町22-1
TEL03（3357）2212 FAX03（3359）2359

爆弾の落ちてこないどこかへ
……ある難民家族の物語
マーグリート・ルアーズ 作
ニザール・アリー・バドル 絵
前田君江 訳
石たちの声がきこえる
小学校低学年から／本体 1500 円＋税
新日本出版社
☎03-3423-8402 FAX 03-3423-8419
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-6

抱きしめてあげて
育てなおしの心育て
渡辺久子 著　いわさきちひろ 画
定価 本体1,400円+税
太陽出版

シリーズ8年ぶりの新刊！
くろくんとちいさいしろくん
なかや みわ さく・え　定価 本体1,200円＋税
くろくんたちは、迷子になったしろくんに出会います。でも、しろくんの仲間が見つかりません。親切にしてくれたくろくんたちへ、しろくんは画用紙に何かをかいていきました。絵の具を塗ると、そこに浮かび上がったのは……！
童心社